



小中合同現地研修

夏季休業中の8月8日（木）に、天草小・中学校の合同研修として水俣市で水俣病に関する人権について学びました。水俣病に関する人権問題は熊本県の重要課題であり、実際に授業で指導する私たち教職員が正しい知識や認識を持つことが必要不可欠であることから、現地へ赴き、関係会社、団体等の方から詳しく説明を受けました。

<見学先>

- 1 JNC株式会社 水俣製作所
(チッソ水俣工場)
- 2 フィールドワーク
 - ①百間排水溝→②水俣湾へドロ埋め立て地→
 - ③茂道漁村→④水俣病歴史考証館

熊本県では小学校5年生で「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施しますので、中学生は水俣での現地学習を「環境」と「人権」の側面から実施しています。しかしながら、水俣病に関する人権問題は継続した課題であり、また環境に対する施策等は学ぶべきことが多く含まれていますので、今後も継続して学習していく必要性を改めて感じたところです。



【JNC株式会社 水俣製作所】



【水俣病歴史考証館】

2学期に向けて ～始業式の話より～

2学期の始業式において、次のような話をしました。この2学期が充実したものになるよう意識してもらいたいと思います。

- 2学期は、「挑戦の1学期」「仕上げの3学期」に挟まれた、何事にも「勝負の2学期」だと思う。
- 2学期には色々な行事や取組が待っている。そこで、この「勝負の2学期」は行事等に取り組むだけでなく、結果にこだわってほしい。そして、自分を更に伸ばし、あわせてクラス等のまとまりをつくってほしい。
- 1年生は、「中学生らしく」から「中学生として」を意識する。自分で考え、時と場に応じた行動がとれるようになってほしい。
- 2年生は、天草中を動かす原動力から、天草中の顔になってほしい。2学期中には天草中のリーダーになってほしい。
- 3年生は、自身の進路実現に向けて全力で取り組んでほしい。また、今まで引き継いできた天草中の伝統を、更に質の高いものにして1・2年生に引き継いでほしい。

1年生

中学生らしくなった→中学生として

- 自分で考え、時と場に応じた適切な行動をとる

1年生のよさを生かす

- クラスの団結力を高める



2年生

天中の原動力→天中の顔へ

- リーダーとしての意識を高める

2年生のよさを生かす

- 学び方の質を高める



3年生

自身の進路実現へ

- 進路選択と学力向上

3年生のよさを生かす

- 伝統の継承から新たな伝統へ
1・2年生につなぐ



全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月31日に公表されました。中学校は3年生が対象で、国語・数学・英語の3教科と生活や学習の意識調査（生徒質問紙調査）が実施されました。

以下、本校の状況等についてお知らせします。

<国語>

平均正答率は、熊本県、全国の平均正答率を約3～4%程度下回りました。特に「読むこと」に課題があります。生徒質問紙の「文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか」の質問事項に対して肯定的意見が少なかった現状から、授業における「読むこと」の学習活動を工夫・改善する必要があります。一方、よかったのは「言語についての知識・理解・技能」の観点で、県や全国を上回っています。



<数学>

平均正答率は、熊本県、全国の平均正答率を約5～7%程度下回りました。領域別に見ると「関数」と「資料の活用」に課題が見られます。特に「関数」では、「反比例の式を求める」といった知識的な内容と「グラフの状況を考察する」といった基礎を活用する内容の両方とも県や全国との差が見られました。「図形」の領域は全国を下回ったものの、県は上回っています。

<英語>

平均正答率は、熊本県、全国の平均正答率を約4～7%程度下回りました。領域別に見ると「書くこと」に課題が見られます。生徒質問紙の英語に関しては、どの質問事項もおおむね肯定的意見が多く、授業に対する関心・意欲も低くはありません。したがって、授業において、「書くこと」の学習活動をもっと充実させること、家庭学習の課題や自主学習での「書くこと」の内容を増やすことは可能であると思われますので、2学期以降取り組んでいきたいと考えます。今回、パソコンを用いた「話すこと」の調査が行われ、参考値ではありますが、正答率は全国を大きく下回りました。「話すこと」も大きな課題です。

<生徒質問紙>

どの質問事項についてもおおむね肯定的意見が多く見られ、全国や県と比較しても良好と言えます。特に良好なものは以下のとおりです。

○「自分にはよいところがあると思いますか」 (本校: 75.1 県: 72.5 全国: 74.1)

○「将来の夢や目標を持っていますか」 (本校: 87.6 県: 70.5 全国: 70.5)

○「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」 (本校: 81.3 県: 66.8 全国: 70.3)

○「人が困っているときは、進んで助けていますか」 (本校: 93.8 県: 84.1 全国: 85.9)

○「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」 (本校: 68.8 県: 45.1 全国: 50.4)

【考察】

生徒は全体的に真面目で何事にも前向きな傾向が見られます。学習に関しては現段階では県や全国の平均には追いついていませんが、学習の量を増やすこと、取り組む内容を見直し、重点化することで改善できると考えています。

【対策】

今回、課題が見られた領域や観点については、今後の授業改善の視点として捉えています。まずは、基礎的・基本的な知識技能の確実な定着を図りたいと思います。

※この結果はあくまで生徒の実態を表す一指標であり、これが学習状況のすべてを表しているわけではありません。